

CBC NEWS LETTER

Vol.5, No.1, Nov.2004

国立大学法人
小樽商科大学ビジネス創造センター



ニュースレター [Vol.5, No.1]

INDEX

1. CBC教授着任ごあいさつ
2. 平成15年度産学連携研究成果報告会
3. スモールビジネス・マーケティング(SBM)研究会の活動
4. 産学官連携イノベーションフェア in 北海道
5. 学外協力スタッフの紹介
6. CBC主要日誌
7. 投稿案内

1

CBC教授着任ごあいさつ

CBC教授 海老名 誠

今般、伝統ある小樽商科大学で働く機会が与えられました事を光栄に存じ、身の引き締まる思いです。36年ぶりの母校は、校舎は全て建て替えられておりましたが、キャンパスから見る海の景色も、校庭の木々の佇まいも昔のままでした。私は、今、青春時代を過ごした昔に一挙に引き戻されたような不思議な気持ちを味わっています。

私は本学を昭和43年に卒業後、一貫して都市銀行の国際部門で働いて参りました。銀行勤務のほぼ半分の期間をニューヨーク・香港・中国など海外で暮らして来ました。そして最近の10年余は銀行の総合研究所で、国際調査を担当して来ました。中国やアジアに進出を検討している日系企業に、現地のリスクなどをアドバイスし、又、日本の国際化の一助になればと、WTOやFTAと言った国際通商交渉に民間から関与して参りました。

本学CBCの使命は、北海道内での起業や大学発ベンチャーを支援し、産学官の連携を強化し、個々の企業や産業の発展を通じ北海道経済の活性化を目指す事であります。その活動に、私のこれまでの経験が少しでもお役に立てれば幸いです。また、私の長い国際部門での実務・研究経験と海外ネットワーク等を生かし、道内企業のアジア等の海外進出・交流促進に際してのアドバイス、橋渡し等を通じた地域の活性化でも貢献したいと考えています。

私は、新規事業の検討に際して、成功する企業の経営者には共通のパターンがある事をこれまでの経験で学びました。それは「新規プロジェクトに偏見を持たず、心を開き広く意見を集め、慎重に調査・分析をして、決めた事は直ちに果敢に挑戦する」と言う事です。私も今後CBCで多くの案件を検討するに際し、上記の姿勢で臨みたいと考えています。着任後、数回に亘る外部との会合に出席して、他大学や産業界そして官の諸機関から本学CBCが実績を高く評価され、大きく期待されている事を実感しています。

CBCの業務は、他大学や機関との連携も然る事ながら、まず本学の学内協力を仰がなければ決して達成できない事は明白であります。学内各位の皆様のご協力とご指導ご鞭撻をお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。



2

平成15年度産学連携研究成果報告会

2004年2月27日(金)にKKR札幌において開催し、71人の参加がありました。当日のプログラムは以下のようです。

◆「顧客満足に関する業界別ベンチマーク調査」

報告者:

佐々木靖俊氏
(北海道中小企業家同友会しりべし・小樽支部)

村山 宏幸氏
(有限会社B-サポート・統括部長)

松尾 睦
(小樽商科大学商学部商学科助教授・ビジネス創造センター研究部主任)



◆「ITカロッツェリア構想の実現に向けて」

報告者:

清水友康氏(北海道ベンチャーキャピタル株式会社業務開発部主任研究員)

平沢 尚毅 (小樽商科大学商学部社会情報学科助教授)

◆「大学の利益相反に関する研究」

報告者:

江戸川泰路氏(新日本監査法人・産学連携プロジェクトチーム・公認会計士)

瀬戸 篤 (小樽商科大学商学部経済学科助教授・ビジネス造センター副センター長)

3

スモールビジネスマーケティング(SBM)研究会の活動

CBCでは、平成16年度に、16番目の登録研究会として「スモールビジネス・マーケティング(SBM)研究会」(代表幹事: CBC長・教授 下川 哲央)を発足させました。SBM研究会の目的は、主として札幌圏の中小企業経営者・幹部等を会員に、中小企業経営の発展に不可欠でありながら最大に弱点でもあるマーケティング能力の向上やマーケティング・マインドの醸成に寄与することです。北海道産学官研究フォーラム(札幌市、電話011-787-7650)経営情報部会(部会長: 下川 哲央)と連携し、今年度は既に計6回にわたるセミナー(4回)、ワークショップ(2回)を開催し、毎回、多くのメンバーが熱心に参加しております。

小樽商科大学が今年度より開校したビジネススクール(MBAコース専門職大学院)が行うケーススタディ等の手法を生かしながら、実践・参加型の研究により展開しています。主な実績は以下の通りです。

◇ 4月27日 キックオフ・セミナー「勝ち組みはここが違う —— 戦略構想とマーケティング」

◇ 6月10日 ITベンチャーのグローバル・マーケティング戦略

- ◇ 6月26日 ケーススタディ・ワークショップ
- ◇ 7月27日 顧客情報活用セミナー(2社より発表)
- ◇ 9月10日 マーケティング戦略事例研究(2社紹介)
- ◇ 10月6日 ケーススタディ・ワークショップ

会員は随時入会受付です。詳しくは下記へ。

<http://www.otaru-uc.ac.jp/cbc/sbm.htm>

<http://www.kirari.com/sbm/>

4

産学官連携イノベーションフェア in 北海道

ビジネス創造センターは9月17日(金)「産学官連携イノベーションフェア in 北海道」(主催:文部科学省、北海道大学他 於:京王プラザホテル札幌)に共催・出展しました。

このフェアは各大学が保有する研究成果・研究者の紹介など大学と地域産業界のマッチングの場を地域ブロック毎に行う事業の一環として北海道で初めて開催されました。午前中は「3大学の知財戦略と産学連携戦略」の講演会が行われ、午後より各大学の展示が行われました。来場者は約450人でした。

ビジネス創造センターでは、文部科学省からの受託研究「大学発ベンチャーマニュアル」の概要を解説するパネル展示、CBC作成のリーフレット、報告書の配布を行い、CBCの活動状況を紹介しました。



5

学外協カスタッフの紹介

平成16年4月1日より5名の学外協カスタッフが加わり、総勢17名体制となりました。新しくスタッフとなった方々をご紹介します。(50音順)

氏名	所属	役職 / 資格
佐々木 信夫氏	株式会社特許戦略設計研究所	代表取締役 / 弁理士
出口 秀樹氏	出口秀樹税理士事務所	所長 / 税理士
寺嶋 典裕氏	あずさ監査法人 札幌事務所	パートナー / 公認会計士
本間 篤氏	株式会社 リクルート	リーダー職 / ライセンスアソシエイト
守内 哲也氏	北海道大学遺伝子病制御研究所	医師、医学博士

5

CBC主要日誌

CBC運営委員会	主任会議
4月20日(火) 議題: 1.平成16年度CBC運営会議の定期開催日について 報告: 4件	4月15日(木)
5月18日(火) 議題: 1.平成16年度CBC予算執行計画(案)について 2.寄附研究部門の設置について 報告: 7件	5月 6日(木) 5月13日(木)
6月15日(火) 議題: 1.CBC寄附研究部門の設置について 報告: 6件	6月 2日(木)
7月20日(火) 議題: なし 報告: 8件	7月 8日(木)
10月26日(火) 議題: 1.CBC主任会議内規の改定について 2.寄附講座等教員選考委員会の発足について 報告: 7件	10月 7日(木)

6

投稿案内

ニュースレターはCBCに関する情報をタイムリーに開示するだけでなく、CBC関係者相互の情報交換の場でもあります。CBC関係各位の積極的な投稿をお待ちしています。

投稿、問い合わせはEメールにてお願いします。投稿は随時受け付けておりますが、投稿原稿の採否、掲載号の決定はCBC情報資料部に御一任ください。

○ 投稿先 小樽商科大学ビジネス創造センター情報資料部(奥田和重)

Eメール: okuda@res.otaru-uc.ac.jp

編集後記

このたび小樽商科大学ビジネス創造センター(CBC)のニュースレターVol.5, No.1を発行することができました。これも関係各機関・各位のご協力の賜であります。本号では、本年10月1日に着任された海老名誠教授の紹介と平成16年度上期におけるCBCの活動をとりあげました。

より充実したニュースレターにするために、今後ともみなさまのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(情報資料部)

国立大学法人
小樽商科大学ビジネス創造センター(CBC)
〒047-8501 小樽市緑3丁目5番21号
事務室 TEL 0134-27-5290
FAX 0134-27-5293
メールアドレス cbc@office.otaru-uc.ac.jp
ホームページ <http://www.otaru-uc.ac.jp/cbc/>